（様式５）

令和３年 月 日

「ESGファイナンス・アワード・ジャパン事務局」　殿

 申請者 住所

 氏名　法人の名称

 　　代表者の役職・氏名

第３回ESGファイナンス・アワード・ジャパン応募申請書
（証券部門）

１．応募の名称

※　対象取組を踏まえて、提案事業の名称を記載してください。

「　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　」

２．応募者概要

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 企業・団体 | 企業・団体名 |  |
| 代表者名 |  |
| 所在地 | 〒 |
| 代表電話番号 |  |
| 担当者 | 氏名(ふりがな) |  |
| 所属 |  |
| 役職 |  |
| 電話番号 |  |
| E-mail |  |
| 連名の場合 | 社名１ |  |
| 社名２ |  |
| 社名３ |  |

３．取組内容①全般

|  |
| --- |
| 表彰対象となる取組の概要* ESG投資の拡大に貢献する債券等の発行支援（引受）や金融商品の販売により、環境・社会へのインパクトを創出すると期待される取組への資金供給を促進した取組
 |

※応募内容は、”E”（環境）を中心に、10～15枚以内での記載をお願いいたします。なお、フォーマットは以下に限定せず、設問に記載の要素を含む形で適宜変更いただいて構いません。

※本年度は、新たに特別賞を設ける予定です。そのため、全事項を記載できない場合でも、積極的に応募ください。

【目標・戦略・フレームワーク】

1. 債券等の発行支援（引受業務）及び金融商品販売に関して、環境課題や社会課題の解決等、インパクトの創出を目的にした戦略や方針をどのように定めていますか。

|  |
| --- |
|  |

1. ①に関する戦略や方針に基づいた引受業務、金融商品販売業務等を促進していくための体制について記載してください。なお、体制ついては、透明性を確保するための取組を含めてください。

|  |
| --- |
|  |

1. ①に関する戦略や方針に基づいた取組について記載してください。

|  |
| --- |
|  |

【透明性】

1. 引受をする債券等の発行体に対して透明性を確保するための要請等の実施している事項、金融商品の販売において、商品開発者に対して透明性を確保するための要請等の実施している事項について記載してください。
（引受をする債券等の対象事業等が環境・社会に対して重大なネガティブインパクトが生じうる事項の確認と、その対応、開示要請等についても触れてください。また、自ら確認している場合はその取組について記載してください。）

|  |
| --- |
|  |

【実績】

実績では、ESG関連の債券等の引受とESG関連の金融商品の販売が評価対象となります。
申請者の要望に応じて、評価対象をどちらに絞ることも可能です。以下に希望する評価対象に✔を入れてください。

|  |  |
| --- | --- |
| □ | 引受、販売を共に対象とする |
| □ | 引受みを対象とする |
| □ | 販売のみを対象とする |

1. ESG関連の債券等の引受件数・金額及び金融商品の販売額を記載してください。
※全体での件数・金額に加え、個別事例単位での金額をそれぞれ記載してください。個別事例のうち、2020年度以降の代表的な事例については後述の４．取組内容②代表的な事例について記載してください。

１：ESG関連の債券等※１の引受：

|  |  |
| --- | --- |
| 件数※２・金額 | 2019年度2020年度2021年度※３ |
| 個別事例リスト（2019年度） |  |
| 個別事例リスト（2020年度） |  |
| 個別事例リスト（2021年度※３） |  |

※１：グリーンボンドとサステナビリティボンド、トランジションボンドの引受額を対象とする。

※２：件数としてはSA、引受（主幹事等）、投資表明、販売取扱等、それぞれの件数を記載してください。

※３：2021年度については、9月末までを対象とする。

２：ESG関連の金融商品の販売額：

|  |  |
| --- | --- |
| 全体額 | 2019年度2020年度2021年度※1 |
| 個別事例リスト（2019年度） |  |
| 個別事例リスト（2020年度） |  |
| 個別事例リスト（2021年度※1） |  |

※１：2021年度については、9月末までを対象とする。

【インパクト】

1. 環境課題や社会課題の解決等に関わる、インパクトの創出を目的にした戦略や方針を踏まえて実施されている引受や商品販売を通じて、発行体および関連する主体の取組をどのように促進していますか。また、左記の取組により創出されるインパクトを把握している場合は、どのような方法でインパクトの特定をしているか、そのインパクトがどの程度か記載してください。（インパクトについては定性的な記載でも構いません。）

|  |
| --- |
|  |

【新規性・波及性】

1. 環境課題や社会課題の解決等に関わる、インパクトの創出を目的にした戦略や方針を踏まえて実施されている引受や商品販売に関する新規性や独自性について記載してください。また、ESG投資の拡大や発行体及び企業等のサステナビリティに関する取組の拡大につながっているか、記載してください。

|  |
| --- |
|  |

1. ESG金融に関連するイニシアティブ等に署名、参加していますか。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| □ | 署名・参加している | □ | 署名・参加していない |

署名・参加しているに✔した場合、署名・参加しているイニシアティブの名称、関連する活動について記載してください。

|  |
| --- |
|  |

４．取組内容②代表的な事例

※応募内容は、”E”（環境）を中心に、最大2つの事例について、各５枚以内での記載をお願いいたします。事例については、引受、販売のいずれかを２件あるいは1件ずつ記載することが可能です。なお、フォーマットは以下に限定せず、設問に記載の要素を含む形で適宜変更いただいて構いません。

（引受に関する個別事例）
※引受事例を2件記載する場合は、以下の項目で2件目を1件目の後に記載してください。

1. 代表的な事例についての概要を記載してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 事例名 |  |
| 参考URL |  |
| 概要 |  |

【インパクト】

1. ①で記載した事例において、資金調達者がサステナブルファイナンスによる資金調達を実施したことで環境・社会にどのようなインパクトを創出することを意図していましたか。また、そのインパクトを創出するために資金調達のフレームワーク等でどのような工夫をしましたか。

|  |
| --- |
|  |

1. ①で記載した事例において、資金調達者の取組において生じるとされる環境・社会への重大なネガティブインパクトについて、どのように確認し、重大なネガティブインパクトが生じうる場合の対応方針をどのように定めましたか。

|  |
| --- |
|  |

【透明性】

1. ①で記載した事例において、資金調達者の開示を促進させるなど、どのように透明性の向上に向けた取組を資金調達者に要請したか記載してください。

|  |
| --- |
|  |

1. ①で記載した事例において、外部のレビューや第三者評価を受けるなど、透明性をどのように確保していますか。また、上記に関する内容を開示していますか。

|  |  |
| --- | --- |
| 内容 |  |
| 開示 | 開示先※ ：※開示先には、該当箇所がわかるようにページ数等を記載してください。URL　　　： |

【新規性・波及性】

1. ①で記載した事例に関する新規性や独自性について記載してください。また、サステナブルファイナンスでの資金調達の拡大につながっているか、記載してください。

|  |
| --- |
|  |

（販売に関する個別事例）
※販売事例を2件記載する場合は、以下の項目で2件目を1件目の後に記載してください。

1. 代表的な商品についての概要を記載してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 商品名 |  |
| 参考URL |  |
| 取組概要 |  |

【インパクト】

1. ⑦で記載した事例において、資金調達者がサステナブルファイナンスによる資金調達を実施したことで環境・社会にどのようなインパクトを創出することを意図していましたか。また、そのインパクトを創出するために資金調達のフレームワーク等でどのような工夫をしましたか。加えて、環境・社会に重大なネガティブインパクトが生じうる場合の対応方針について記載してください。

|  |
| --- |
|  |

【新規性・波及性】

1. ⑦で記載した事例に関する新規性や独自性について記載してください。また、サステナブルファイナンスでの資金調達の拡大につながっているか、記載してください。

|  |
| --- |
|  |